

6-1 基本方針1 高齢者の多様な生きがいづくりの支援
(5)就労支援の充実

掲載ページ	72	事務事業名	シルバー人材センター運営費補助事業	担当課	高齢福祉介護課	
事業の概要	臨時的かつ短期的な就労の機会の提供、就労を希望する高齢者に対する職業紹介及び就労に必要な知識・技術の講習に取り組む公益社団法人茅ヶ崎市シルバー人材センターに対し、財政支援を行い、高齢者の活動の機会を促進する。					
事業の目的	高齢者の就労機会の増大、社会参画を促進するための取り組みを促進するため、役割を担う公益社団法人シルバー人材センターに財政支援を行う。					
評価の指標	会員数:各年度(人)					
27年度	目標値	1,100	評点	S	評価	会員数は、経年的に見ると横ばい状態が続いており、今後も会員数を増やす取り組みが必要。高齢者数が増加する中、就労機会の拡大や社会参画の促進に対する取り組みを更に進めていただく必要がある。
	実績	915			今後の取組	会員数の確保に努めていただくとともに、受注件数や就労延べ人数等の確保等の状況を把握するとともに、その進捗状況をヒアリング等で把握する。また、必要に応じ、経営改善に向けた助言を行う。

掲載ページ	72	事務事業名	中高年齢者就業支援事業	担当課	雇用労働課	
事業の概要	勤労市民会館において、職業相談及び紹介、就職・転職活動の相談、就職活動についての講座を実施し、中高年齢者を含む求職者の就職を支援する。					
事業の目的	勤労意欲を持った高齢者が地域で働き続けることができるよう、就労支援を図る。					
評価の指標	就職サポートコーナー相談者における65歳以上の相談者割合					
27年度	目標値	3.8%	評点	A	評価	相談者1,596人のうち、65歳以上の高齢者の相談者数は34人で相談者割合2.1%であり、目標値は達成していないが、キャリアコンサルタントが仕事の探し方や適性・適職のアドバイスをし、より実効的な就職・転職活動に繋げている。
	実績	2.1%			今後の取組	就職支援講座の実施、ふるさとハローワークとの連携を図り、引き続き事業を充実させていく。

掲載ページ	72	事務事業名	【再掲】セカンドライフのプラットフォーム	担当課	企画経営課
事業の概要	定年退職や子育てが終わり、茅ヶ崎で活動の場を探す高齢者に対して、今後の人生を地域で豊かに過ごすことをデザインするセミナー(セカンドライフセミナー)の実施や地域で様々な活動(就労やボランティアなど)を行いたい高齢者に対してマッチングを行う生涯現役応援窓口を開設する。				
事業の目的	高齢者のQOL(人生の内容の質や社会的に見た生活の質)の向上を図るため活動の場のマッチングを行い、高齢者が支えられる側から支える側へと転換する。				
27年度	評価	セカンドライフセミナーは合計40人が受講し、受講者の満足度は高く、参加費用の設定に対しても妥当との意見が大半であった。また、生涯現役応援窓口は、6か月間で延べ244人が利用し、その活動希望先の約7割が就労であった。就労先の開拓も同時に行っており、結果として17名の就労が実現した。それぞれの取組が初年度であったが、これまでにない超高齢社会に対応した取り組みをスタートすることができた。			
	今後の取組	セカンドライフセミナー受講者や生涯現役応援窓口における相談者へきめ細やかなフォローアップを行い、活動の場への支援を行う。また、それぞれの取り組みについて周知が課題となっており、広報紙やホームページでのPRだけでなく、関係機関、民間事業者、地域での活動団体などと連携しながら本事業を推進する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			